

平成26年度に建設工事で発生した事件事例（墜落・転落による事故）

事故概要:

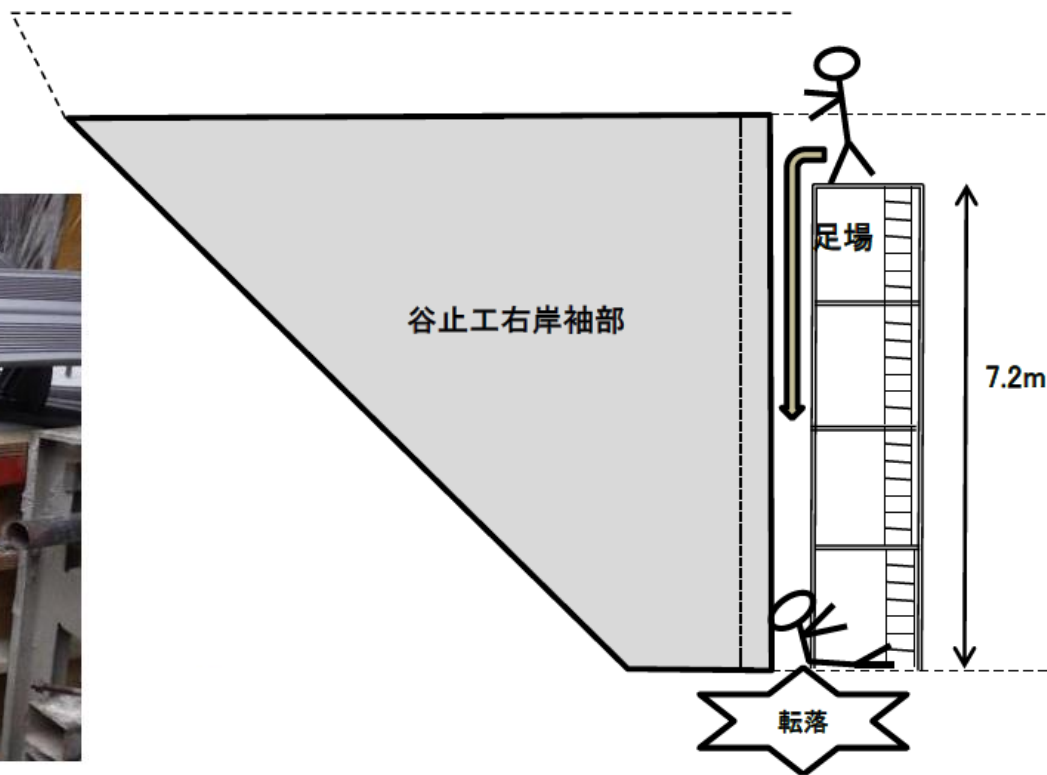
谷止工鉛直打継凹凸部の脱型作業中、これまでの作業では簡単に外れなかったものが、最初に力を加えた時に型枠が外れて落下したため、体勢を崩し型枠とともに約7.2m転落し負傷した。

事故原因:

・安全帯を使用していなかった

改善対策:

・安全教育の徹底



分類: 型枠工、脱型

被害状況: 2週間の入院(外傷性血気胸、多発肋骨骨折、腰椎横突起骨折)

平成28年度に建設工事で発生した事件事例（墜落・転落による事故）

事故概要：

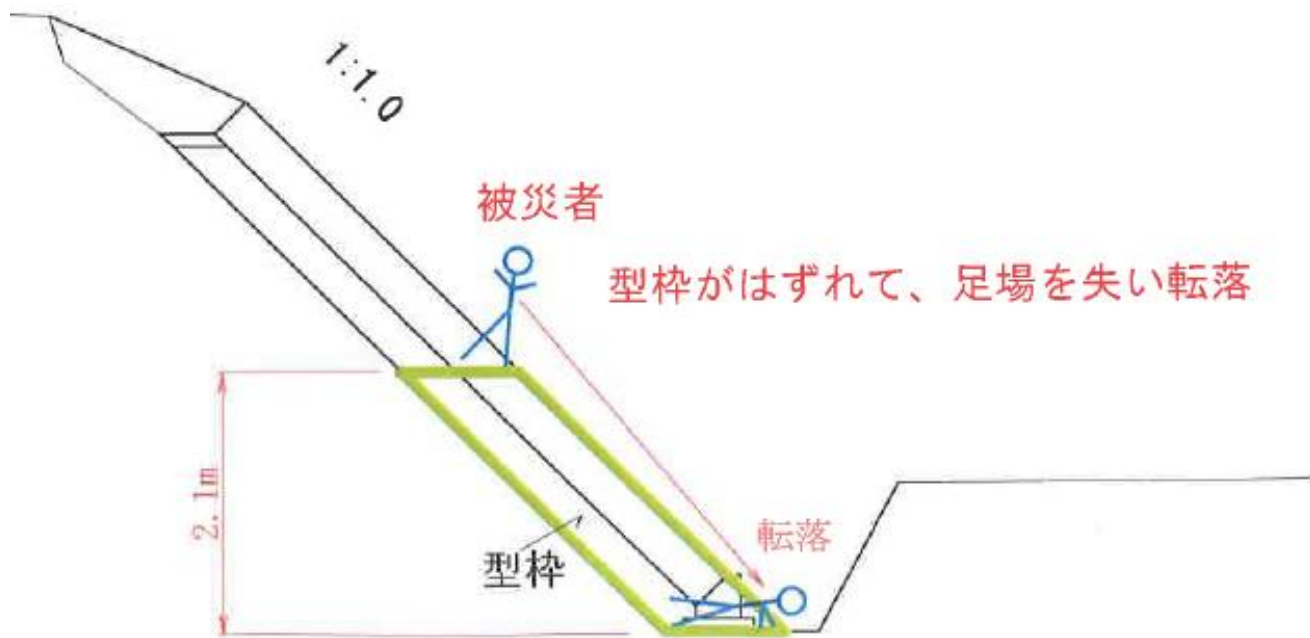
練ブロック張小口止工の型枠を脱型中、型枠の上に乗って作業をしていた作業員が、型枠支保が外された型枠に乗ったことで型枠が外れ、型枠とともに2.1m下方に落下し負傷した。

事故原因：

- ・作業床の設置を怠った。
- ・被災者には型枠支保工が既に外されていることが伝達されていなかった。

改善対策：

- ・作業床の設置
- ・入場時の情報共有を徹底する
- ・危険予知、安全教育の徹底



分類：型枠工、脱型

被害状況：16日間の安静加療（外傷性くも膜下出血、左肋骨骨折）

平成28年度に建設工事で発生した事故事例（ 工具・資材による事故 ）

【事故概要】

河川護岸工事の小口止工の脱枠作業において、通常は、横パイプ、縦パイプの順に外す必要があるが、今回は、横パイプのみを先行して外したため、縦パイプが上から落下し、作業員の右足の甲に当たり、負傷した。

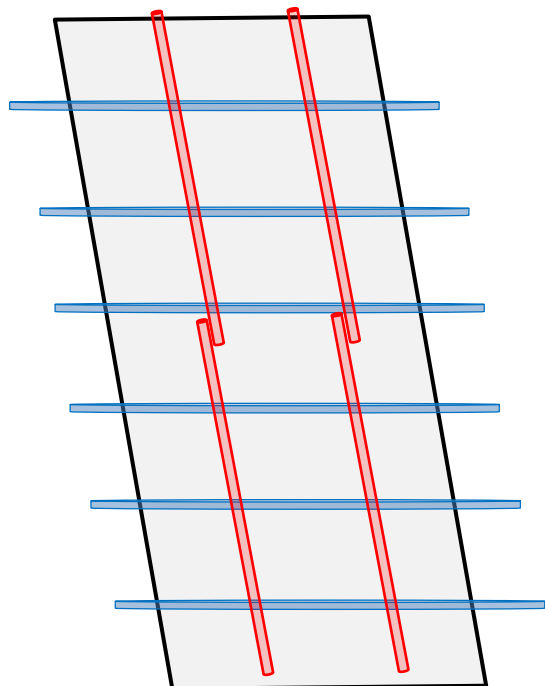
【事故原因】

・本人の不注意
（作業手順書と異なる手順で作業を行った）

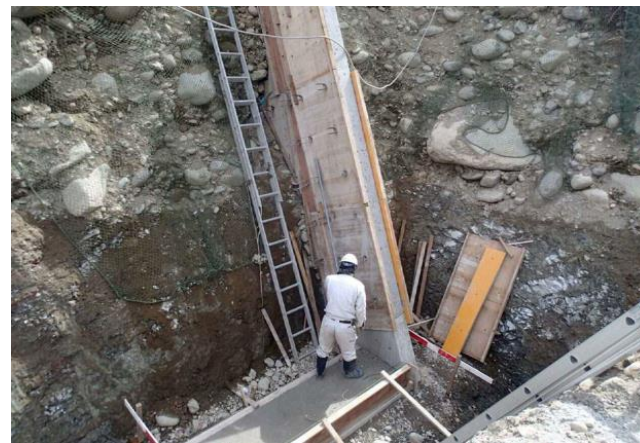
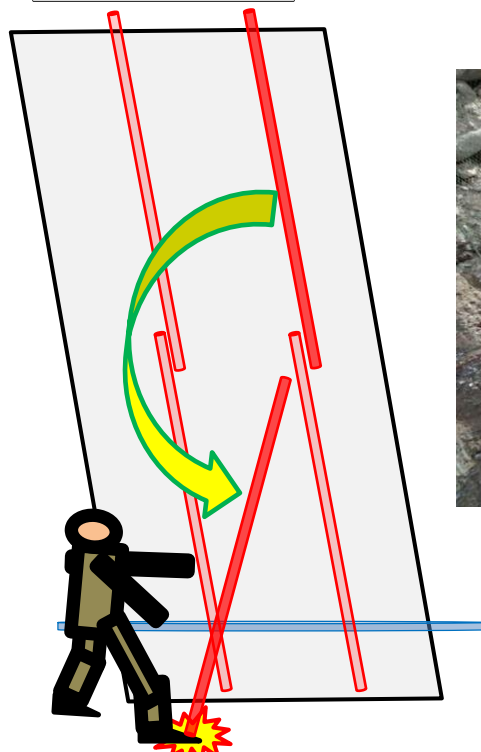
【改善対策】

・当日の作業に関する作業手順書を作業員に周知させるとともに、チェック表にて把握状況を確認する
・安全教育の徹底

脱枠前



事故発生時



【分類】型枠工、脱型

【被害状況】右足切創

平成30年度に建設工事で発生した事件事例（墜落・転落による事故）

【事故概要】

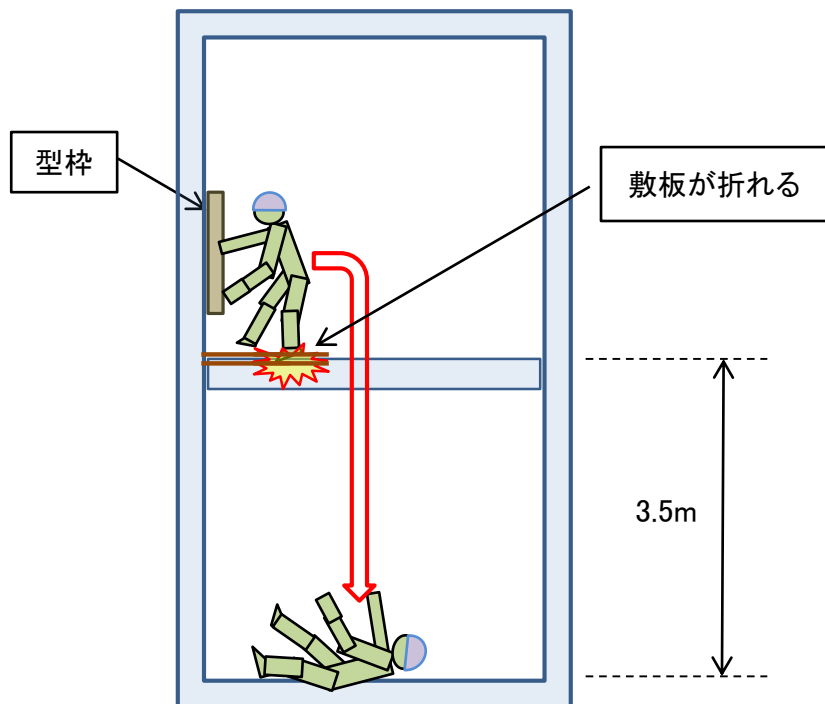
ダクトスペース部分の型枠脱型作業の際、鉄骨の梁に木製敷板（幅200mm、長さ2000mm、厚さ40mm）2枚が架けてあったため、木製敷板に乗って作業しようと足を掛けたところ、木製敷板が折れて3.5m下のコンクリートスラブに墜落した。

【事故原因】

- ・仮設計画が不十分で仮設足場が未設置であった
- ・現場内の安全点検、仮設設備の作業開始前点検において、見過ごしがあつた
- ・危険箇所での作業との認識はありながら、作業員の判断で木製敷板の上で作業した
- ・安全帯を使用していなかった

【改善対策】

- ・墜落・転落災害防止に係る仮設計画の再検討、足場の設置
- ・現場巡視の強化
- ・不適切な資材の使用禁止、不要資材の整理整頓
- ・安全帯使用の徹底等、安全対策の再教育



【分類】 型枠工、脱型

【被害状況】 右上肢挫傷、両膝挫傷、腰部挫傷、右眼瞼挫傷（安静加療1週間）